



法政大学 経営学部 同窓会報

www.houseikeieidousoukai.com/

発行 法政大学経営学部同窓会

発行人 岩井 昭(会長)

兎行人 石井啓(芸長)
編集人 由西文行(広報担当)

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

ボーソナード・タワー17階経営学部資料室

TEL/FAX. 03-5382-9344

お時間も頂きありがとうございます。お忙しいところお詫びいたします。お対話をお聞きたいと思います。

神谷常務理事・経営学部教授に、法政大学の現状と今後、さらに法政スポーツの現状と今後についてお話を伺いたいと思います。

まずは法政スポーツから、何か明るい話題はございますか。

(神)あまりないですね(笑)。法政大学は2つの部を「最重点強化部」として特別に支援するという体制をとっています。「野球部」と「陸上競技部」がそれに該当します。しかしその2つの部については、陸上の短距離を除いては最近あまり良い成績を残していないというのが現状です。ただ明るい話題として、富山商業から森田君という素晴らしいピッチャーがこの春経営学部に入学しました。この春のリーグ戦(2015年)では、いきなり初戦を勝利で飾りました。東京六大学野球春のリーグ戦では法政は2位になりました。

(岩)現日ハムの斎藤佑樹投手以来、東京六大学野球で1年生初戦初勝利は3人目ですね。

(神)そして本年(2015年)から監督が若い青木監督になりました。青木監督は第2合宿所に寝泊まりして、24時間部員の面倒を見ておられます。今年1月から合宿所の規律も厳しくなり、このような普段の生活指導によつて、合宿所の雰囲気が明らかに1年前と変わり、畔上主将に引っ張られ選手の意識も高まつてしまっていると思います。今後の野球部に期待しております。

(岩)私も今後の「野球部」に期待したいと思います。ところで、1月に卒業生の皆さんが出られるかどうかが判断基準になってしまふか。

神谷常務理事 × 岩井会長対談



い、いつたん弱くなつてしまふと、法政が魅
力ある大学に見えなくなつてしまふと、
岩(神) そろそろ予選会ですね。

神) 10月17日です。予選会に皆さんのが期待さ
れておりますが、予選会が最終目標ではあり
ません。なにが何でも1月2・3日の本戦です。
選手が力を合わせて戦つてくれる信じてい
ます。



(岩) 次に田中優子先生が総長になられ神谷先生は常務理事として、法政大学の経営に関わられておられます、法政大学の現状と今後について、ご説明をいただけますでしょうか。(神) 田中総長になつてから、大学全体の雰囲気が変わりました。田中先生は極めて自然体会到、非常に愛校心のお強い方です。田中先生は社会学部長を経て総長になられましたが、状況認識が鋭いというか、「当然こういうことをしなきゃいけない」という問題提示をされます。「全部は実現できないんですけど、大事な問題についてはとにかく考えて、手をつけていきましょう」というスタンスですので、理事会のメンバーや教職員も、「総長がそう言われるのであれば、動いてみようか」ということで、少しずつ色々なところで変化が生じてきていると思います。

(岩) 確かに大変立派なビジョンをお持ちになられまして、「大学はこうあるべきだ」ということを非常に明確にされていると思いますし、外部に対しても非常に良い印象で迎えられています。また、最近テレビでの露出を高めていただいています。

(神) 毎月1回、日曜朝の番組にご出演されるそうです。

(岩) そうですか。それは楽しみです。そして田中先生はさらにビジョンを活性化して、将来に向かつての法政らしいコンセプトで邁進していくこうというご姿勢のようですが、この点については如何でしょうか。

(神) 現在「H O S E I 2 0 3 0」という創立150年に向けてのビジョンを策定しています。経営学的に言えば、15年先を見据えての中長期計画です。法政大学は、昨年「SGU(スピード・グローバル・ユニバーシティ)」に採択され、さらに留学生を増やすなど、国際化を強化していく方向にあります。当然、様々な国籍の学生が在籍する訳ですから、英語でしか話せない学生が法政大学に入学した場合には、すべての授業を英語で展開しないといけません。また法政の学生は今以上に、在学中



111

2016年1月4日現在本会報掲載各部の

成績結果は左記の通りです。
野球部・秋期リーグ戦第5位。
陸上競技部・箱根駅伝予選会を第7位で突破。
箱根駅伝本戦では、総合第19位でシード権獲得ならず。
アメリカンフットボール部・関東大学リーグ戦第3位。甲子園ボール出場を逃す。

新任先生紹介

大木良子先生



4月に着任し、あたふたしながらも春学期を終え、少し落ち着いて秋学期を迎えることができました。眺めのいい高層オフィスビルのようなボアソナードタワーでの授業もあれば、多くの学生さんの往来の長きにわたる積み重ねを感じる58年館での授業もあり、そのギャップを楽しむ余裕も出てきました。



二階堂行宣先生



今年で同窓会創設20周年を迎えたとのことで、心よりお祝い申し上げます。2015年4月から経営学部に参りました二階堂行宣と申します。以下、簡単ながら新任のご挨拶をいたします。

たりすることが求められることから、入り口を間違つてしまふと、最後まで経済学に苦戦する。意識や嫌悪感を持ち続けてしまう学生が少なからずいます。この先の人生で経済学と縁がなくなつてしまふようなことのないよう授業では実際の企業の事例や個人の意思決定

A black and white portrait of a young man with short dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is plain and light-colored.

私自身が経済学に興味を持つたきっかけは大学生の時に受講した必修のミクロ経済学の授業でした。ある日、左側通行のようなルールが社会で安定的に維持されているメカニズムが、ゲーム理論という一見すると無味乾燥な数式で説明されていました。経済学が社会の仕組みや人間の複雑な意思決定を整理し明快に説明してくれるというのは、遊ぶことに夢中でふわふわと大学生活を送っていた当時の私には大きな発見で、経済学って楽しいかもしれないと思い、その気持ちは今も続いている。幸運にも授業をする機会に恵まれています。

大学・大学院では「日本経済史」を専攻し、明治から戦後までの国鉄のマネジメントについて



現在、その楽しさまで伝えることは非常に難しいと痛感していますが、学生の皆さんと一緒にじっくりと取り組んでいきたいと思います。

アーリー

市場経営学科准教授 大木 良子
(オオキ リョウコ)

学位
博士(経済学)
東京大学 2011 / 3

研究分野

研究課題
流通オンライン化の経済分析と新しい競争政策。プラットフォーム型流通業者の垂直的取引契約に関する経済分析



経営戦略学科専任講師 二階堂 行宣
(二カイドウ ユキノ)
博士(経営学)
学士



いるのはJR時代以後です。「そのような若者たちが国鉄の歴史研究をすること自体噴飯ものだ」という厳しいご指摘に対しても、「かえて客観的分析ができる側面もあるのだ」と浅学を取り繕つております。

博士（経済学）の学位取得直後、本学に参りました。今年度は専門科目「日本経営史」のほか、外国語科目・演習科目をいくつか担当しています。教歴が全くなかつた私にとって、この数か月間はさながら「未知との遭遇」の連続でした。同僚の諸先生方、職員の皆様に助けていただきながら、教員生活の第一歩を踏み出しております。学生と年齢が近いこともあり、気軽に発言できる授業環境づくりを心掛けていますが、思うようにいかぬこともあります。試行錯誤の毎日が続きそうです。

研究分野	経済史、経営史	東京大学	2015 / 3	経営戦略学科 専任講師	二階堂 行宣 (ニカイドウ ユキノリ)
研究課題	鉄道事業経営・運輸政策に関する	博士(経済学)		学位	
歴史研究				研究分野	
				研究課題	

私が歴史を勉強してきて感じているのは「長い目で見ること」の大切さです。過去を調べると、名もなき先人たちが汗や涙を流しながら、日々の課題に誠実に向き合う姿が見えてきます。たとえその時は失敗し、回り道を辿ったようなことも、長い目で見れば大きな成功につながった事例は枚挙に遑がありません。日々学生と接していると、彼らが近頃眼的な思考にとらわれ、成果主義に陥っているように感じることが多々あります。眼前の結果にとらわれず、心に余裕をもつて物事を俯瞰的に見ることの意義を、自戒の意を込めて、少しでも伝えていきたいと思います。

未熟者ではございますが、伝統ある法政大学経営学部の一員として、精一杯仕事にあたる所存です。ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひいたします。

学部生広場

広報委員会

Student square

広報委員会では外部や内部の方々に向けて
オープンキャンパスやゼミ紹介、O B · O G
インタビューを行い、法政の魅力を Face
bookで伝えて います。

以下は経営学部同窓会の会員の松本弘さんの
インタビュー記事です。



もしい方はかりたごと印象に残っています
同窓会に入つてみて何か変わったことはありますか？



松本さん・“法政”的繋がりってすごいなと感じますね。(大部分を割愛)
強い縁(えん)を感じますね。(大部分を割愛)
たが、最近は“法政出身”と聞いてもフーンという感じでし
じるようになりましたね。以前より増して法政大学のことが好きになりました。今まで
はさせていただ



学術ゼミナール委員会では現在、「講演会局」「入ゼミ局」「涉外局」の3つの局に分かれ、それぞれ違った特色を持った活動をしています。

「講演会局」では春学期・秋学期に最低1回ずつ、企業の方をお招きしての講演会を企画・運営していくます。就活関連の講演が主ですが、基礎からESの書き方、身だしなみ講座など、その内容は多岐にわたり、その講演内容を自分たちで決めることが出来ることが醍醐味です。今年度は前期に、就活のスケジュール変更に焦点を当てた講演会を実施しました。





「入ゼミ局」は、経営学部学務と各ゼミを繋ぐパイプの役割を果たし、学務課から提供される各種情報を、Eメールや会議で各ゼミに伝えています。また、毎年秋口に行われる入ゼミ試験に先立つて行われる、ゼミ説明会の準備・運営も行う、学術ゼミナール委員会の核とも言える活動をしています。

「涉外局」ではインナー大会／インター大会と呼ばれる関東／全国規模のプレゼン・討論大会に運営要員として参加し、大会への協力

を行っています。その中で数々の他大学の学生と知り合う機会があり、いろいろな価値を知ることが出来ます。

今年度は各局とも人不足でしたが、なんども一年乗り越えることが出来ました。

12月に行われる二つの講演会で今年度の締めくくりとなります。有終の美を飾れるとう、全力を尽くしたいと考えます。



留学生

経営学部 市場経営学科 1年生 ユムカレ

A portrait of a young woman with short dark hair, wearing a light-colored collared shirt. She is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a dark, out-of-focus interior.



留学は決して簡単ではないのです。だからこそ、もし勇気を出して試したら、今まで断然異なる新しい世界が見えます。

日本語を習つたが、実際、何の役割もなかつたです。本場の日本語と教科書の例文、ずいぶん違います。話よりもエスチャーで交流しました。それから、日本で2年間日本語を勉強しました。会話力はそんなに大きく上げていなかつたです。なぜなら、いつも話が間違つたのを怖くて、話す機会が少ないからです。これは言語を習う時、よく現れた問題ではないでしょうか。

自信がないから話さない、話さないから逆に自信もなかなか持たないです。正しい文法を把握することも重要ですし、自分が知っている限りできるだけ細かく伝わるのが一番だと思います。

次の悩みは、何の学部を選べればいいのか、学部ごとの志望理由何を書ければいいのかです。ある日、買い物をする時、不意にいいデザインの歯ブラシスタンドを見つかりました。草色のセラミック製品で清潔感ありながら便利です。そんなに小さいものでも配慮したのを感じました。顧客のニーズを十分考えてと美と実用性兼備の商品を作るのが素晴らしいと思って、経営特に市場経営に興味がありました。ですから法政大学の経営学部に入りました。

一年生はまだ専門科目が少ないのでそれとも、十分の難しさを感じました。想像のように何でも面白い、すぐに分かるのではなく、漠然の状態からだんだん知識を蓄えるというプロセスと感じています。日本語を習うと同じように、できるだけ自分の力で授業中を理解して再現するのが大切だと思います。

大きな目標を立たなくても、現実をもとにしで、新しい構想をどんどん生み出して、調査したり努力したりしているのは私の留学生活です。

鈴木ゼミの紹介

seminar introduction

(担当科目：基礎統計学、
計量経営分析) **鉢木武**

鈴木武

法政大学に赴任したのは1976年で、今
年で40年目を迎え、2016年3月で定年退
職になります。この間、統計学の講義を担当
してきました。統計学というと確率や数式を
使った学問というイメージですが、英語では
統計学を *statistics* と言い、「状
態」を意味するラテン語から派生したもので
す。英語の *state* から分かるように、そ
のラテン語が国家や国土を意味するようにな
りました。したがって、人口や生産物など国
の状態を記述する学問として統計学は出発し
たのです。それとは別に偶然を記述する確率
論が成立し、それと結びつき現在の数理統計
学ができあがりました。

金ゼミの紹介

金容度

夏と春の年2回の合宿では、日本の同業企業間の比較、日本企業と海外企業間の比較を内容とするグループ報告を行つたうえでディスカッションをしています。4年生には、卒業論文を書いてもらつていますが、提出された卒業論文をデジタルファイルにして、ゼミ後輩達が読めるようにしています。

最初の数年間（2003年～2007年）には毎年の2月か3月の数日間、ゼミ生と一緒に韓国を訪問して、サムスン電子など韓国の大手企業やその工場を見学したり、産業歴史遺跡地や韓国の文化を紹介する施設を勉強したりしました。

私がハーバード大学の客員研究員としてアメリカボストンに滞在した、2009年4月～2011年3月の2年間を除く、ゼミNOB会も毎年欠かさず行っています。ゼミの卒業生は、金融機関、製造メーカー、サービス業

との企業事例を取上げ、ゼミ生が出した論点に基づいてディスカッションを行っています。例えば、各社の成長の歴史・現状に現われる特徴は何か、成長要因と強さの原因は何か、また、今直面している、あるいは近い将来に直面すると予想される課題は何か、それに対応してどのような戦略が必要なのかなどについて、ゼミ生と対話しながら、議論を深めます。また、授業から何を学んだかについてのレポートを毎週ゼミ生に提出してもらいます。年1回～2回は、企業で働く方をゲストスピーカーとしてお招きして、話を聞いた上で質疑応答を行いう機会を設けています。

私は2002年4月に法政大学経営学部に着任しまして、その約2ヶ月前に急逝された故橋本寿朗先生のゼミを受け継ぐ形でゼミ担当を始めました。

私が学部で担当する講義は日本経営論ですが、毎週のゼミ授業では、日本企業だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ、韓国、中国、台湾など

も務めています。同部の現役部員間、OB間、OBと現役部員間の仲間意識の良さを強く感じています。私のゼミの現役生やOBも同じような仲間意識をもち続けながら、お互い成長していく好循環をつくることを心がけています。

岸ゼミの紹介

岸真理子

かれて丁寧に行ってています。ゼミでの学習は、ゼミという組織のナレッジ・マネジメントの実践そのものとしても機能しています。個人で得た知識をゼミにいかに伝達し、ゼミでいかに共有し、ゼミの知識としていくか、単に言葉にできるもの以外にもゼミという場に共有される目に見えない知識をどのように活かしていくか、まさに「モノ」から「コト」への変換の重要性を学んでいくといえます。

ゼミのOB・OGは、ゼミでの勉強を活かして、IT業界はもちろん、マスコミ、シンクタンク、大企業といえます。

科書以外にも、何冊かの補足教材を各自読みこむことで、基礎的な専門知識を身につけるよう指導しています。また、このようない知識をベースに企業の実際について学ぶために、データベースを活用して具体的な企業事例を調べること、ゼミに社会人のゲスト・スピーカーを招くこと、企業訪問の機会を設けることなど、さまざまな機会を通じて生きた知識のインプットができるように努めています。知識のアウトプットのためには、まず、インプットした知識を活かし、自分なりに消化してアウトプットする方法から学んでいきます。発表らしい発表やディスカッションを行えるように発表や議論の方法について学習し、これを毎回のゼミで実践していきます。また、勉強するように心がけています。ゼミでの勉強の集大成である卒業論文の指導は、時間を

岸ゼミの紹介

（担当科目：経営情報論）

かれて丁寧に行ってています。ゼミでの学習は、ゼミという組織のナレッジ・マネジメントの実践そのものとしても機能しています。個人で得た知識をゼミにいかに伝達し、ゼミでいかに共有し、ゼミの知識としていくか、単に言葉にできるもの以外にもゼミという場に共有される目に見えない知識をどのように活かしていくか、まさに「モノ」から「コト」への変換の重要性を学んでいります。

ゼミのOB・OGは、ゼミでの勉強を活かして、IT業界はもちろん、マスコミ、シンクタンク、大企業といえます。

科書以外にも、何冊かの補足教材を各自読みこむことで、基礎的な専門知識を身につけるよう指導しています。また、このようない知識をベースに企業の実際にについて学ぶために、データベースを活用して具体的な企業事例を調べること、ゼミに社会人のゲスト・スピーカーを招くこと、企業訪問の機会を設けることなど、さまざまな機会を通じて生きた知識のインプットができるように努めています。知識のアウトプットのためには、まず、インプットした知識を活かし、自分なりに消化してアウトプットする方法から学んでいきます。発表らしい発表やディスカッションを行えるように発表や議論の方法について学習し、これを毎回のゼミで実践していきます。また、勉強するように心がけています。ゼミでの勉強の集大成である卒業論文の指導は、時間を



